



仲間と共に

学校目標「めあてをもち 仲間と共に やりぬく心」 令和4年12月23日



「21世紀は人権の世紀」

校長 小野木義浩

今世紀は「人権の世紀」と呼ばれ、「人権尊重の世界の実現」のため、世界中でいろいろな施策が進められています。三輪南小学校では、すべての教育活動を通して人権の大切さを子供たちと一緒に考え学んでいます。毎日の積み重ねはゆっくりかもしれませんが、着実に子供たちに人権尊重の心が育まれていくと信じています。

近年、脳科学的な観点から、「いじめは本来人間に備わっている機能による行為ゆえ、なくすことは難しい」という見解も示されていますが、学校では、子供たちに「想像力を働かせる」ように伝えています。「もし自分だったら」「相手はどんな考えや立場で言っているのか」などイメージすることで、自分事としてとらえたり、物事を多面的・多角的にとらえたりできるようになります。また、根拠のない噂話に踊らされることが多いので、「正しく知る」ことも大切にしています。「正しく知らないことが偏見や差別を生み出す」からです。

これらが、必ずいじめをはじめ、人権軽視の行為のブレーキになり、さらに自他を大切にす子供たちの意識や態度につながっていくと考えています。

民間人を巻き込んだ「ロシアのウクライナ侵攻」のニュースが毎日繰り返し流れてきます。この事態は10か月続き、まだ解決の道筋も見えません。子供たちも日常的に見聞きする人権軽視の出来事です。先日、地域の方から子供たちに読んでほしいと、平和についての絵本をいただきました。是非、手に取って読んでほしいです。子供たちと共に考えてほしいです。

(「へいわってどんなこと」浜田桂子作 童心社)

本の中で、作者は「へいわって こんなこと」とイメージを伝えてくれます。みなさんはどんなイメージがありますか。私は、ゆっくりねむれること、あたたかい食事を毎日とれることなどが頭に浮かびます。

- ・みんなの前で大好きな歌が歌えること。
- ・「いやなことは いやだ」と一人であっても意見が言えること。
- ・・・

そして、本の中で、さらに、私たちに「命の尊さやその重さ」を考えさせてくれます。

- ・命は一人にひとつ。かわりはありません。おもたい命。

だから ぜったいに殺したり、殺されたりがあってはならない。武器などいらない。最後に「平和とは ぼくがうまれてよかったっていうこと。 きみがうまれてよかったっていうこと・・・」と投げかけます。何だか、特別でない日常の出来事が輝いてみえますね。



2022年が終わります。この一年間、学校の教育活動にご理解・ご支援賜りありがとうございました。今年は、まだまだ新型コロナの影響を受け、制限のある中での学校生活でしたが、依然と比べてやれたこと、できたことが増えつつありました。

2023年はウイズ・コロナからアフター・コロナと移行するとともに、世界の戦争や紛争が収束してほしいです。自分も相手も、みんなが安心して幸せに生活できる人権尊重の年になることを願っています。どうぞよいお年をお迎えください。